



夏本番を前に…

校長 佐々木 秀之

今年は、5月というのに、早すぎる真夏の到来でした。東京都心では5月24日から4日連続で気温30度を超す真夏日を記録し、北海道では26日に北海道の観測史上初の39度台を記録しました。梅雨に入り、今のところ雨量は少ないようですが、今年の夏は猛暑や豪雨による被害が起こらないことを祈るばかりです。

*

かの吉田兼好の「徒然草」には、「家のつくりようは、夏を旨とすべし。冬はいかなるところにも住まる。暑き比わろき住居は堪へ難きことなり」と書かれています。

日本には素晴らしい四季の変化があります。爽やかで過ごしやすい春と秋。冬は雪が降り、寒くとも二月が「如月（きさらぎ）」（着る物をさらに重ねて着る）というように、重ね着をすれば耐えられない寒さではありません。しかし、「夏の暑さ」は堪え難い。この高温多湿の夏を如何に乗り切るかに頭を悩ませていたことは、今も昔も変わりありません。

先人たちは、水や風、植物など自然の持つ恵みや長所を上手に利用して、夏を涼しく過ごすために知恵を絞ってきました。林により日陰をつくり、下草を生やして照り返しを防ぎ、すだれやよしずで日射しをさえぎりながら風を保ち、打ち水で気温を下げ、さらには風鈴の音色に涼しさを感じるなど先人たちの知恵には見習うべき点がたくさんあります。日本人は感覚が鋭く、微細であることを表しているとも言えます。暑い夏を体調を崩さずにいかに過ごすか、どうぞ我が家の工夫を…

*

昨今、小学生が巻き込まれる事件事故が多く報道されています。学校では、子供たちの安全を第一に教育活動を行ってまいりますが、いつ何時、事故に巻き込まれないとも限りません。

子供たち一人一人は“かけがえのない”存在です。しかし、“かけがえがない”という大切さは、自分を「かけがえのない存在」と感じてくれる人の有無にかかっていると思います。「たった一つしかないからかけがえがない」のではなく、自分のことを「かけがえがないと思ってくれる人がいる」から自分はかけがえのない存在になることができるのだと思います。様々な人と出会うことが多いこの夏休みに、子供たちが「かけがえがないと思ってくれる人がたくさんいる」と感じてほしいものです。

子供たちの行動範囲はいつもより広くなり、大人の目を離れることもあります。遊びに行き夢中になり、帰宅時刻が遅くなることもあるかも知れません。危険な目に会うことがないことを願っています。自分の身の安全は自分で守りながら、子供たちが安心して過ごせるよう、どうぞ我が家の工夫を…

7月の予定		
1	月	安全指導・点検
2	火	保護者会(4・5・6) 3年生(5時間授業)
3	水	水曜時程 宿泊前日健診(五)
4	木	合同下田宿泊(五) 児童・生徒の学力を図るための調査(五)
5	金	合同下田宿泊(五)
6	土	合同下田宿泊(五)
7	日	
8	月	振替休業日(五)
9	火	大掃除週間① 避難訓練(不審者対応)
10	水	水曜時程
11	木	委員会 大掃除週間②
12	金	大掃除週間③
13	土	学校公開日② 水曜時程(3時間) 方面別下校(3時間目) ことば相談日(13:00~)
14	日	
15	月	海の日
16	火	大掃除週間④ 保護者会(五)
17	水	水曜時程(5時間授業)
18	木	給食終 大掃除週間⑤ 着衣泳(五)
19	金	終業式・水曜時程(4時間授業)
20	土	
21	日	夏季休業日始
22	月	サマースクール①・夏季水泳指導①
23	火	サマースクール②・夏季水泳指導②
24	水	サマースクール③・夏季水泳指導③
25	木	サマースクール④・夏季水泳指導④
26	金	夏季水泳指導⑤
27	土	
28	日	
29	月	夏季水泳指導⑥
30	火	夏季水泳指導⑦
31	水	～2日(金)秩父キャンプ(五)

4年生の様子



4年生は今年度70人でスタートしました。4年生の学習のキーワードは、「体験」です。5月には水道キャラバンがありました。水道キャラバンでは、水源林から浄水場を通して各家庭に水が届くまでの様子を映像から学び、浄水実験(沈殿・ろ過)を実際に体験しました。ここから子供たちは、普段当たり前のように使う水の大切さを理解したのです。この他に消防署見学もしました。7月にはふれあい環境学習ということでゴミの分別体験学習をしたり、収集されたゴミの処理について話を伺いしたりする予定です。

2学期も、地域安全マップ作り、手話や点字打ちの体験学習、埋立地の見学などが予定されています。

これからも大泉小の4年生は、豊かな体験を通してそこから考え発展させていく学習を大切にしていきます。

(4年学年主任 石井正敏)

6年 移動教室について

5月13日(月)から3泊4日で、岩井へ行ってきました。岩井の自然や産業にたくさん触れ、様々な体験ができた移動教室となりました。鰯の開き作りでは、魚を前に少し緊張した面持ちでしたが、包丁を上手に使って、一人3匹の鰯を見事捌き、立派な干物をお土産にすることができました。他にも日本製鉄君津製鉄所、鴨川シーワールド、サンドスキー体験、地引き網体験、歴史民俗博物館で充実した時間を過ごすことができました。

移動教室後には、一人一つ課題を設定し、パワーポイントソフトを使用してまとめました。自分が進めてきた学習を分かりやすく伝えられるように工夫を凝らし、発表することができました。

今回の移動教室では、五分前行動を意識し、てきぱきと行動する姿が見られました。声をかけ、助け合いながら集団行動を送る中で、更に友達との絆も深めることができました。移動教室で学んだことを生かしながら、最高学年として更に成長してほしいと願っています。

(6学年担任 勝又眞優)



校内研究について

今年度は、算数科の研究に取り組んでいます。

次年度から実施される新学習指導要領では、人工知能(AI)時代の到来を踏まえ、自ら考え、判断し、表現していく力の育成がますます重視されています。そうした状況を踏まえ、本校の研究主題は、「すすんで考え、表現できる児童の育成～算数科の問題解決型学習を通して～」と設定しました。知識偏重の教育ではなく、体験的・問題解決的な学習で習得した知識や技能を活用して探求していくことで、思考力・判断力・表現力を育成していきます。

(研究主任 河村泰正)

お知らせ

8月13日(火)～15日(木)の3日間は、学校休務日とし、休日扱い(土日と同様の扱い)となります。

また、長期休業中の電話の応答メッセージ機能による対応時間は、16時45分から翌日の8時15分までとさせていただきます。



7月の生活指導目標「時間を守って生活しましょう」

学校は集団生活だからこそ、「時間を守ることは信頼につながること」「時間は平等に与えられているもの」「身勝手な行動で他人の時間を侵害してはいけないもの」であると学ぶことができます。その積み重ねの中で、時間を守ることや時間の管理が自分自身の成長につながることであり、自分で考え行動できるようになってほしいと思います。もうすぐ夏休みです。集団生活から離れた生活の中でも、お子さんが自分自身で起床時刻や就寝時刻のルールやテレビやゲームの時間の約束を守って行動できるよう、ご家庭でも「時間を守る」習慣を再確認していただくと助かります。

生活指導部 (井筒優菜)